資料No.2

平成 23 年 12 月 14 日　第 2 回伊豆の国市地域公共交通会議　報告②

重要施策検討のための調査結果について

１　調査の目的

本市が重要施策と考えている市政情報、コミュニティ FM、公共交通関係について市民の意見を聞き、今後の施策に反映させる基礎資料を得るため。

２　調査対象　　16 歳以上の市民のうち 1,500 人を抽出し実施

３　調査期間　　平成 23 年 8 月 9 日～平成 23 年 8 月 24 日

４　回収結果

（１）対象者　　1,500 人
（２）回収数　　730 人
（３）有効回収数　729 人
（４）有効回収率　48.6%

５　結果概要

■　主な外出先は、「市外」が 38.7%と最も多く、市内では「大仁地区」が 20.0%、「長岡地区」が 18.9%、「韮山地区」が 15.2%。（設問 16）

■　主な外出先への移動手段は、「自分で運転する車」が 54.6%と最も多く、次いで「家族等が運転する車」が 11.4%で、自家用車を使用している人は 66%であった。なお、公共交通は「電車」7.8%、「タクシー」1.5%、「バス」0.7%で、合計で約 1 割程度となっている。（設問 17）

■　過去 1 か月間の路線バスの利用については、「利用しない」が 86.0%で最も多い。また、「利用した」を年代別で見ると、10 代が 32.2%と最も多く、70 代が 19.6%、80 代以上が 17.0%の順となっている。（設問 18）

■　路線バスを利用しない理由について、「バスを利用しなくても移動できる」が 76.4%と最も多く、次いで「必要な日や時間にバスが運行していない」が 23.3%、「行きたいところに行けるバスがない」が 22.8%となっている。（設問 18-2）

■　運転免許の所持と自由に使用できる車（バイク含む）の有無では、67.5%の人が「運転免許を持っていて自由に使用できる車がある」と回答。（設問 19、設問 19-1）

■　運転免許の自主返納について、「70 から 79 歳までの間に返納」が 35.8%と最も多く、次いで「80 歳以降に返納」が 25.2%であった。なお、「返納するつもりはない」は 29.0%となっている。（設問 19-2）